

「志成」＝志有る者、事ついに成る＝



PTAだより

2018.12.20.
Vol.100



本校
ホームページ

滋賀県立河瀬中学・高等学校PTA会報



香港修学旅行（高校2年生）

第100号発刊にあたって



PTA会長 辻 哲朗

本校創立と同時に発足したPTA・教育振興会も36年を迎え、今回100号を発刊するに至りました。この節目に寄稿させて頂く事への喜びと、それ以上に先人達の軌跡の重みを深く感じております。

会則第二条に掲げている「中学校と高等学校が一体化し、会員相互の協力により、学校と家庭及び地域社会との連携を密にして、生徒の健全な成長を図ること」は、立場は違えど、私たち保護者共通の願いであり、普遍なものだと私は信じております。

幸いにも本校は「志成」の校訓の元で、子ども達が落ち着いて学校生活を過ごしている様子を多年に渡り、見続けることが出来、先生方はもちろん、保護者の皆様と思いを共有出来る幸せを強く感じています。

これからもPTA・教育振興会活動にご理解・ご協力を賜りますこと、何卒宜しくお願い致します。

第100号記念によせて



校長 小椋 健一

平素は、本校教育活動ならびにPTA活動にご理解・ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、毎年3回にわたって発行しているこのたよりも、今回で100号を迎えます。40年近くの歳月を経てここ

に至ったことを考えると、万感の思いがこみ上げます。改めて、本校の歴史に関わっていただいた方々に感謝したいと思います。昭和の後半である58年に開校し、その20年後の平成15年には、中高一貫教育校としてさらなる発展を遂げ、平成もその幕を閉じようとしている昨年度から、ICT活用先進校を目指し、電子黒板機能付きプロジェクター等のICT機器を次々と導入し、教育環境は大きく変貌を遂げました。

この新しい環境のもとで「学び」の姿勢がより主体的になるにつれ、教育環境整備の重要性を再確認した次第です。これからも、時代の要請に合致した環境づくりを「河瀬」に関わっていただいた皆様と進めて参りたいと思います。

栄誉ある「平成30年度優良PTA文部科学大臣表彰」

去る8月20日、21日に第68回全国高等学校PTA連合会大会(佐賀大会)が開催され、本校からは4名が参加しました。

本大会において河瀬中学校・河瀬高等学校PTAが、最も栄誉ある「優良PTA文部科学大臣表彰」を受賞しました。全国で32校しか授与されない大きな賞です。このような賞を頂戴出来たのは、役員・先生方だけでなく、地道に活動を続けてこられた先輩方、日々の活動を支えてくださる評議員の皆さん、そして会員の皆さんのおかげで受賞出来たと考えます。今後も子ども達の健やかな育ちを支える活動に邁進たく、精一杯務めさせていただきます。



賞状は会員の熱意と協力により優れたPTA活動を「行い頭者」を賞賛を捧げられました。ここに奨励のためこれを表彰します。平成三十年八月二十日。表彰者 林芳正

さて本大会は「広めよう、高めよう、慈しむ心」がテーマでした。佐賀県は「栄の国」を語源とする県で小さいながらも先進的に文化を発展させ七賢人を輩出した県です。その根底にあった他者を慈しむ心を佐賀の地で見直すことを主目的に大会が開催されました。我々が学んだ家庭教育に係わる分科会では、スマホなどの情報機器との向き合い方は勿論、根幹となる親子の対話を通じて友人や他者を慈しむ心を育む必要性を学びました。

慈しむ心に際限はありません。次の世代を担う子ども達に最も伝えなければいけない事は他者を慈しむ心なのではないでしょうか。

(PTA会長 辻 哲朗)



滋賀県立河瀬中学校・河瀬高等学校PTA

地域に根ざした中高一貫型PTA活動

所在地: 滋賀県彦根市川瀬馬場町975
全校生徒数: 生徒923名

| | |
|-------|--|
| 学校の特徴 | 本校は全日制普通科高校として昭和58年に開校し、平成15年に河瀬中学校を併設しました。「志成」を校訓とし、生徒が希望する進路を実現できる確かな学力とたくましさ育てる「魅力と活力ある進学校」として、未来社会に貢献できる人材の育成を目指しています。 |
| 地域の特徴 | 琵琶湖の東岸、湖東平野の北西、彦根市郊外の自然豊かな地域に本校は位置しています。農業が盛んに行われている地域でありながら、工場や大学等の高等教育機関も多数位置することから、地域をキャンパスとして、体験学習や地域連携の取組を積極的に進めています。 |
| 活動内容 | 併設型中高一貫教育校の特色を活かしつつ、中高一貫で生徒を見守り育てる視点から、中長期的なビジョンのもと、様々な取組を進めています。研修旅行での大学訪問による進路学習や、生徒とともに汗を流す環境整備活動を実施しています。 |

特徴的な活動・運営体制

中高合同で生徒・保護者・教職員が協働する楽しい「参加型」PTA総会

本校のPTA総会は、全国レベルで活躍する吹奏楽部の演奏会で始まります。総会後には、文化講演会や学年懇談会等が開催され、生徒・保護者・教職員が参加したくなる仕掛けを盛り込んでいます。中学校・高校合同で開催している点も本校ならではの特色です。



「心触れ合う」あいさつ運動
本校のPTAの生徒指導委員会では、主に月1回、生徒会執行部や教職員と共同してあいさつ運動を実施しています。



「出会う」・「つながる」・「ひろがる」を実現するPTAラウンジ

本校の体育祭においては、保護者が自由に学校や子供たちの学校生活について意見交流が行える「PTAラウンジ」という場を設定しています。

○学校行事における地域や企業等と連携

本校の文化祭では、PTAと地域の飲食店が連携し、模擬店を出店しています。生徒たちの模擬店に交じり、保護者と地元企業等が協働して行事を盛り上げています。



○「心をつなぐ」親子清掃活動の実施

例年、真夏の8月に実施する環境整備作業を、本校では生徒・保護者・教職員が協力して実施しています。



親子で汗をかきながら、愛校心を育みます。



成果

- ・趣向を凝らした企画とセットにすることにより、PTA総会の参加者は増え続けている。
- ・文化祭や体育祭などの学校行事に、保護者や地域(飲食店等)の企画が入ることにより、「参加してみたい」と思えるPTA行事が増えた。
- ・PTA研修旅行に、保護者からの要望が多い大学を含めることにより参加が増加するとともに生徒の進路実現に向けた共通理解が高まった。

課題

- ・県立学校である本校は、市町村立の公立学校とは異なり、校区が広い地域と連携・協力した活動については常に開拓を続ける必要がある。調整力と企画力が求められる。
- ・併設型中高一貫教育校のPTAとしてのさらなる魅力や独自性の創出のための工夫が必要である。

総務委員会

PTA研修旅行に参加して

総務委員会副委員長 **境 幸奈**

平成30年10月11日、先生方を含む計35名で愛知県への研修旅行が実施されました。まず訪問した豊田工業大学では、徹底した少人数教育、充実した教育環境、体験的教育を行う事によりきめ細やかな特色ある教育を行っているとのことをお話を伺いました。

また、専門的能力に加え、豊かな人間性と自主性を磨き、国際社会に通用する人材育成を目標とされている事がわかりました。

その後、名古屋観光ホテルでの食事や「ノリタケの森」の見学など有意義な一日を過ごすことができました。

今回の研修旅行は、大学進学や教育の在り方について学ぶ良い機会となりました。ありがとうございました。



PTA研修旅行 アンケートより

- ・とても良い企画でした。親である私が「この大学に行きたい!」と思う魅力的な大学でした。
- ・昨年に続いて参加しました。大学見学も説明が分かりやすく、ランチもとてもおいしかったです。
- ・来年も参加したいと思います。とても良かった。大学見学が良かったので来年も参加したい。
- ・大学の説明・案内等、非常に分かりやすく充実した内容で楽しめた。



環境整備委員会

校地内除草作業に参加して

環境整備委員会副委員長 **川島 明子**

平成30年8月18日（土）の午前、夏休み恒例のPTAによる環境整備活動が行われました。当日は、保護者95名、教職員17名、中高の部活動の生徒約150名のみなさんに参加いただきました。

残暑厳しい折、かなり過酷な作業であったと思いますが、校門からグラウンド奥のフェンスまで、広い校地内が隅々まで綺麗になり、子どもたちも気持ちの良い2学期のスタートを迎えることができたと思います。

ご協力いただきました保護者の方々、生徒さん、先生方、一緒に汗を流しながら交流を深める良い機会になりましたことに対しまして御礼申し上げます。暑い中、本当にありがとうございました。



生徒指導委員会

挨拶運動に参加して

生徒指導委員会副委員長 **岩曾 佳子**

PTA生徒指導委員会では、毎月1回、朝の挨拶運動を実施しています。7:50~8:20まで、担当委員、先生方、生徒会の生徒のみなさんが学校周辺の5カ所に立ち、あいさつと見守りをします。

登校する生徒のみなさんの様子を見てみると、目を合わせておじぎをしてくれる人や、大きな声で自分から声をかけてくれる人など様々ですが、やはり朝から言葉を交わして笑顔でやり取りすることは気持ちが良いものです。一日の始まりに元気をもらえるような気がします。

また、歩道の狭いところ、車の多いところなどもあり、交通マナーには十分気をつけてほしいと思いました。これからも、事故なく元気に登校し、挨拶を交わす良い習慣が続くよう活動を続けていきます。ご協力よろしくお願い致します。



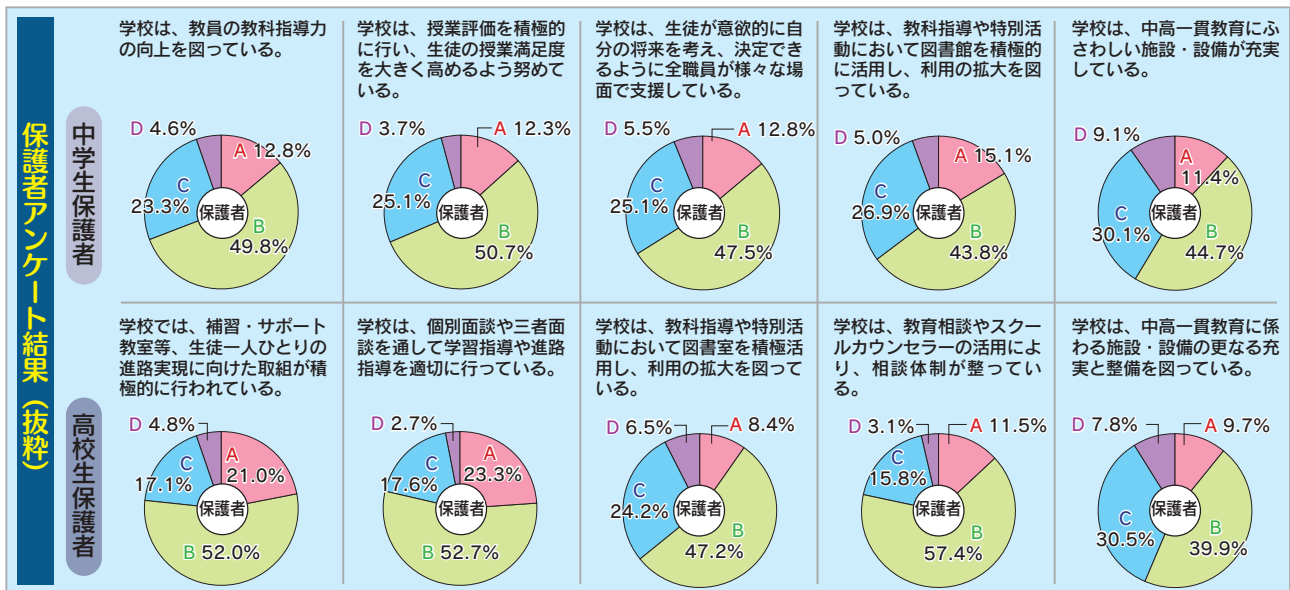
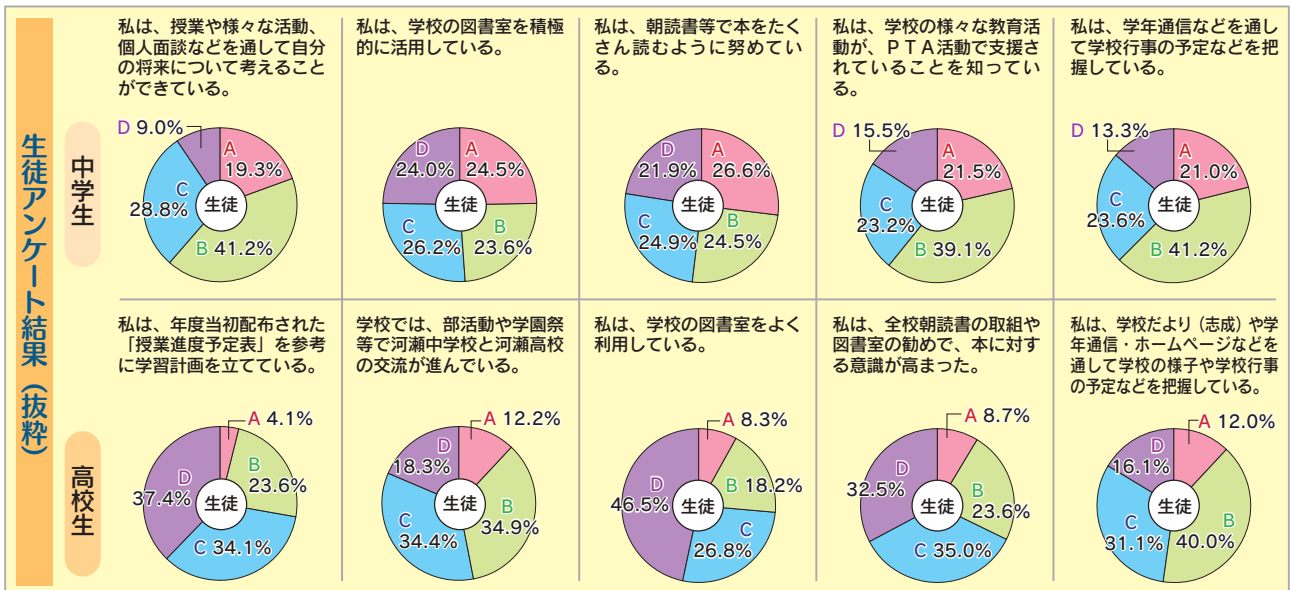
今後の挨拶運動の予定
1月15日(火)、2月15日(金)

平成30年度前期 学校評価

学校関係評価(生徒・保護者)にご協力いただきましてありがとうございました。特に評価の低い項目について掲載いたします。今後の学校運営及び教育活動の改善に生かしていきます。各質問に対する回答は、以下の通りです。

各質問に対する回答は、次の通りです。

A ほぼあてはまる B ややあてはまる C どちらかという あてはまらない D ほとんどあてはまらない



河瀬中学校・高等学校コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)

コミュニティ・スクールとは、学校運営協議会を設置している学校のことで、保護者や地域住民がより一層学校運営に参画することが可能となる仕組みです。保護者や地域住民等が学校教職員とともに教育の当事者となり、子どもの教育に関する課題や目標を共有することで、家庭や地域と学校の連携・協働の取組を充実させることができます。

本校では今年度より、この取組を始めており、平成30年5月28日(月)に第1回の学校運営協議会を開催しました。平成30年10月22日(月)には第2回目の会合を開き、県立長浜北高等学校長の梅本剛雄先生を講師にお招きし、「地域との連携・協働を生かした学校組織マネジメント」と題した講義を聞かせていただき、同校の先進事例から多くのことを学ばせていただきました。



ICTを効果的に活用した「優しくわかりやすい」授業の推進

去る平成30年11月8日(木)の午後、平成30年度河瀬ICTオープンクラスが開催されました。本校では、昨年度より電子黒板やデジタル教科書等のICT機器等を効果的に活用した授業改善に取り組んできており、当日は、県教育委員会や県内他校から多くの参観者をお迎えし、5限目に公開授業（国社数理英体、高校1年全クラスと高校2年2組）を行いました。（教員は、6限目は教科別授業研究会、7限目は滋賀県立大学の木村裕准教授による講演会に参加。）



本校は、滋賀県教育委員会が実施する施策、「学びの変革」推進事業の研究指定校に指定され、平成28年度から授業改善に係る実践研究に取り組んできました。加えて、平成30年度からは、同教育委員会より高大接続ICT活用事業の研究指定校にも指定されたことから、本取組に係る校内の体制整備と実践の充実に努めています。

特に英語科では、9月より導入したタブレット端末を活用し、「話す」「聞く」「書く」「読む」の英語の4技能の資質・能力の向上のため、双方向型のコミュニケーション活動を取り入れた授業を展開しています。英語を使用する必然性のあるコミュニケーション活動を多く取り入れ、タブレット端末を思考ツール・協働ツールとして活用したうえで、総合的な英語運用能力の育成に取り組んでいます。

平成30年度 県事業ICT活用指定校

滋賀県立河瀬高等学校

「学びの変革」推進プロジェクトに係る教育実践・研究推進体制 ～高大接続改革を見据えたICT活用を軸とした主体的・対話的で深い学びの充実を目指して～

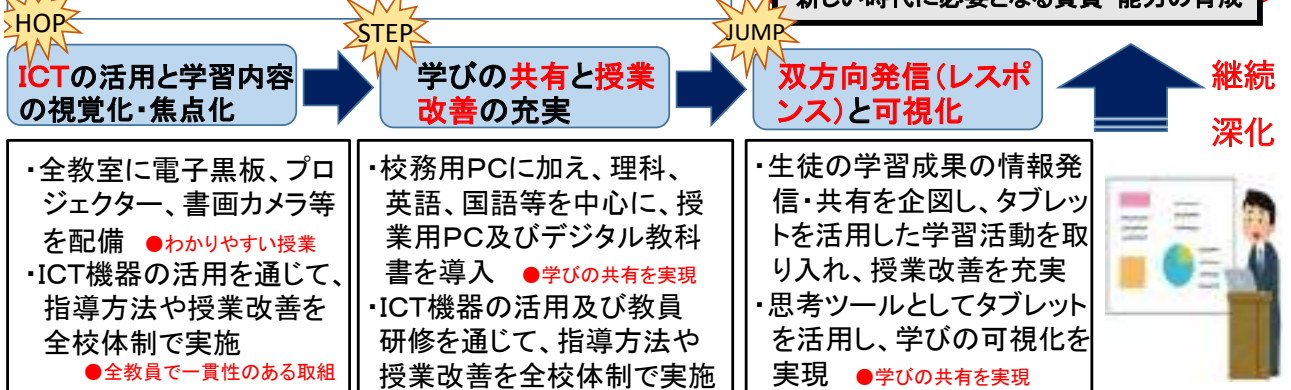
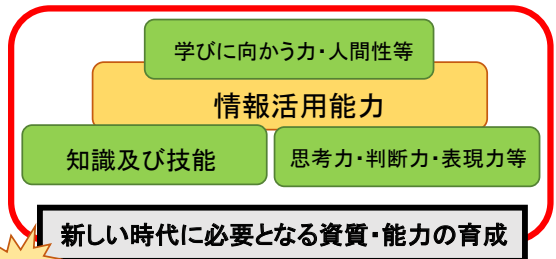
【課題】

- ・併設型中高一貫教育校としての特色を生かし、社会と連携・協働しながら、未来の創り手となるために必要な知識や力を育むため、「何ができるようになるか」という**目指す資質・能力を明確にした授業改善の推進**が必要。
- ・教員が自分だけの立場で検討するのではなく、**全体が連携しながらより高い目標を目指す**。



【重点実施項目】

- ・基礎・基本の定着を図るとともに、**活用・協働型授業**についての研究と推進を実践し、「**学びの好循環**」を生み出す授業の推進
- ・**高大接続改革**を見据え、**タブレット端末等ICTを活用**した新たな学びの創出(特に英語、理科を中心に)
- ・**アカデミックプログラムや国際理解教育等**の独自プログラムを基盤とした統一的・多面的学びの機会の充実



中学1年

アカデミックプログラム

中学校第1学年 学年主任 松蔭 恵俊

中学1年生では、10月17日に滋賀県立琵琶湖博物館を訪問し、琵琶湖の水環境について考える学習を行いました。

当日は、生徒自らの手で琵琶湖に生息するプランクトンを採集し、1人1台ずつ光学顕微鏡を用いて、当博物館の学芸員である小林偉真先生の指導のもと、観察・同定を行いました。

また、水質調査キットを用いて、琵琶湖で採集した水について、pH(水素イオン濃度)やCOD(化学的酸素要求量)を測定し、化学的な視点から琵琶湖の水質の現状について調べました。

プランクトンの観察・同定と水質調査から、校内では体験できない、琵琶湖の実態について体験的に研究する時間を持つことが出来ました。



中学2年

職場体験学習

中学校第2学年 学年主任 西嶋 亮

平成30年9月3日(月)~7日(金)、県内23の事業所のご協力をいただき、職場体験学習を行いました。実習を終え、「自分のことだけでなく周りも見られるようになった。」「自分から挨拶するようになった。」「前よりも学習に意欲的になった。」「働いている人に感謝です。」など、生徒それぞれに学んだこと、感じたことがあったようです。

お世話になった事業所の方々からも、「元氣よく挨拶できた。」「日を追うごとに積極的に動けるようになった。」など嬉しい言葉をいただいています。この職場体験学習で学んだことを忘れず、普段の学校生活に生かしてほしいと思います。



中学3年

修学旅行

中学校第3学年 学年主任 元持 重子

第3学年では、「Special memories in Tokyo ~みんなで刻め 思い出の1ページ~」のスローガンのもと、10月24日~26日の3日間、東京・横須賀方面へ修学旅行に行ってきました。

東京湾(神奈川県横須賀市)に位置する無人島・猿島での国際交流、英語での会話に少し緊張した顔。横須賀西海岸、夕日を背に散歩するおだやかな顔。東大生とのディスカッションでの生き生きした顔。ディズニーシーではちきれんばかりの笑顔。いろんな表情を見せてくれました。

多くの人と出会い、いろんな刺激を受け、また、仲間との絆も再確認したことでしょう。実りの多い充実した3日間でした。



スケアードストレイトを知っていますか？

12月7日(金)の3限目、全校生徒を対象として、スケアードストレイト手法による交通安全教室が開催されました。スケアードストレイトとは、実際に起きた交通事故の様相や事故につながる危険な行為、事故の発生しやすい場所や状況を、プロのスタントマンがその場で実演して再現し、体験的に学習を進める学習方法です。恐ろしい事故の様子を疑似的に体験することができ、私たちは交通ルールを守ることの大切さを改めて実感しました。



高校2年

『多文化共生』香港修学旅行

高等学校第2学年主任 廣田耕一郎

グローバル化が進む中、その国の文化や歴史、それに伴って形成された習慣や考え方・価値観を理解し、本当の意味での相互理解が達成できるよう、香港修学旅行を11月13日から3泊4日の日程で実施しました。

中でも、2日目の学校交流は、感動的なものとなりました。ソーラン節の披露では、現地の学生と本校の生徒とが一体となり、会場が大変盛り上がりしました。中国語や体育、英語、家庭など、授業体験でも、現地の学生と一緒に授業を受け、とても貴重な体験ができました。

異文化を肌で直接感じることができた有意義な修学旅行となりました。



学習指導

第2学年「進学合宿」を終えて

高校2年生では、夏休み中の平成30年8月11日(土)～13日(月)に、クレフィール湖東にて「進学合宿」を実施し、希望者18名が参加しました。

この合宿では、規則正しい集団生活を通じて、集中して自律的に学習に取り組みました。各自の学習計画に沿った自学自習タイムや模擬試験の過去問題研究等を中心に、一心不乱に学習に没頭しました。

「大学で学ぶこと」と題し、立命館大学の播磨谷浩三先生にご講演いただく機会もあり、進学に向けた意識を高める良い機会となりました。



生徒ホール(2階)を自学自習に活用

夏休み中に高3生が自学自習できるスペースを増やすため、2階の生徒ホールを開放しました。活用してくれる生徒が多かったことから、夏休み後も自学自習スペースとして開放を続けています。

早朝や放課後、平日も休日も利用者は途絶えません。「職員室に近く、先生にすぐに質問に行けるので便利。」「周りのみんなが集中して勉強していると、自分も集中して勉強ができる。」「広い教室にいと落ち着かないが、仕切られた自分だけの自習空間だと集中力が高まる。」などの声があがっています。



2学期の主な大会・コンクールの結果

●高校

《夏季の主な成績》

【運動部】

○陸上競技部

＜県民体育大会＞

男子ハマー投 川西隼司 2位
男子円盤投 北川亮介 4位

＜ユース選手権大会＞

2年男子円盤投 北川亮介 2位
(近畿ユース選手権大会に出場)
1年男子110mH 福山青志 4位

○男子ハンドボール部

＜県民体育大会＞

3位 優秀選手賞
村岸勇弥 中島大世



《秋季総合体育大会・高等学校総合文化祭など》

【運動部】

○陸上競技部

男子円盤投げ 北川亮介 3位

○男子ハンドボール部

大会優秀選手 中村龍翔

【文化部】

○E.S.S.部

＜全国商業高等学校英語スピーチコンテスト 滋賀県大会＞

レシテーション部門 最優秀賞 池永佑生
優秀賞 酒井凧砂

○放送部

＜高等学校総合文化祭 滋賀県大会＞

アナウンス部門 北田愛 2位(2019全国総文に推薦)

○科学部

＜学生科学展＞ 学校賞

＜滋賀県児童生徒科学研究発表大会・高等学校の部
(県高等学校総合文化祭 自然科学部門秋季大会)＞
滋賀県教育長賞(1位)

○美術部

＜高等学校総合文化祭 滋賀県大会＞

美術・工芸部門 國司真音(2019全国総文に選出)

《平成30年度税に関する作文》

彦根税務署長賞
高校1年 土田 怜旺「財政赤字 どうするか」

●中学

《夏季総体ブロック大会》

【運動部】

○男子卓球部

＜県大会＞

団体戦 準優勝(近畿大会出場)

○女子卓球部

＜県大会＞

個人戦 立岡真歩 5位
西村千夏 7位(2名とも近畿大会に出場)

《秋季総体ブロック大会》

【運動部】

○女子卓球部

＜ブロック大会＞

団体戦 優勝



《平成30年度税に関する作文》

彦根愛犬納税貯蓄組合連合会長賞
中学3年 宮本 真子「これからの税」

オーストラリア短期派遣研修

本校では、多様化・複雑化するグローバル社会で活躍できる人材の育成を目指し、希望者を対象に、オーストラリアのクイーンズランド州アサートン市近郊で海外短期派遣研修を実施しています。

今年度は、平成30年8月3日(金)～8月13日(月)の期間、中学生6名、高校生15名、計21名が、ホームステイをしながらアサートン高校での語学研修と正規授業の受講などを通して、実践的な語学力とグローバルな国際感覚を身に付けるための海外研修を実施しました。

酪農が盛んで牧歌的な風景が広がるアサートン市は、オーストラリアのケアンズ南西に広がる丘陵地帯

に位置しています。そこに設立されたアサートン高校では、正規の授業に出席するミニ留学体験や、オーストラリアの言語、生活文化、社会、自然などについても学ぶ語学研修、本校生1名に対してアサートン高校生の「パディ(語学支援ボランティア)」が1名ついてくれるパディ・プログラムなどに取り組み、数々の貴重な体験をしました。

また、現地の方のご家庭への滞在を通して、英語を通してホストファミリーとの心の通じた交流の機会を持ち、オーストラリアの生活習慣やものの考え方などに触れた実体験は、今後、大きな財産となることでしょう。



PTAだより vol.100

2018.12.20.(木)発行

滋賀県彦根市川瀬馬場町975

滋賀県立河瀬

中学校・高等学校

TEL 0749-25-2200

TEL 0749-28-2935

http://www.kawase-h.shiga-ec.ed.jp